

イオン脱炭素ビジョン2050

～脱炭素社会の実現を目指して～

イオン株式会社
グループ環境・社会貢献部 マネージャー
椋島 裕美枝

脱炭素社会を目指して

2008

2011

2015

2020

2030

2050

世界の
目標・方向

■ 京都議定書 (2008~2012)

■ 洞爺湖サミット

■ SDGs

■ パリ協定

イオン

■ **イオン サステナビリティ基本方針**
(2011)

脱炭素社会に向けた
ポスト2020年目標

低炭素社会
の実現

■ **イオン温暖化防止宣言**
(2008~2011)



2005年エコストア1号店
イオンタウン千種

■ **イオンのecoプロジェクト**
(2012~2020)



2013年スマートイオン1号店
イオンモール八幡東

次世代スマート
イオンの開発

生物多様性
の保全

■ **持続可能な商品調達目標**
(2017~2020)

資源循環
の促進

■ **食品廃棄物削減目標**
(2017~2025)

イオン 脱炭素ビジョン2050

イオンは、3つの視点で温室効果ガス（以下CO₂等）排出削減に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献します。

店舗

店舗で排出するCO₂等を2050年までに総量でゼロにします。

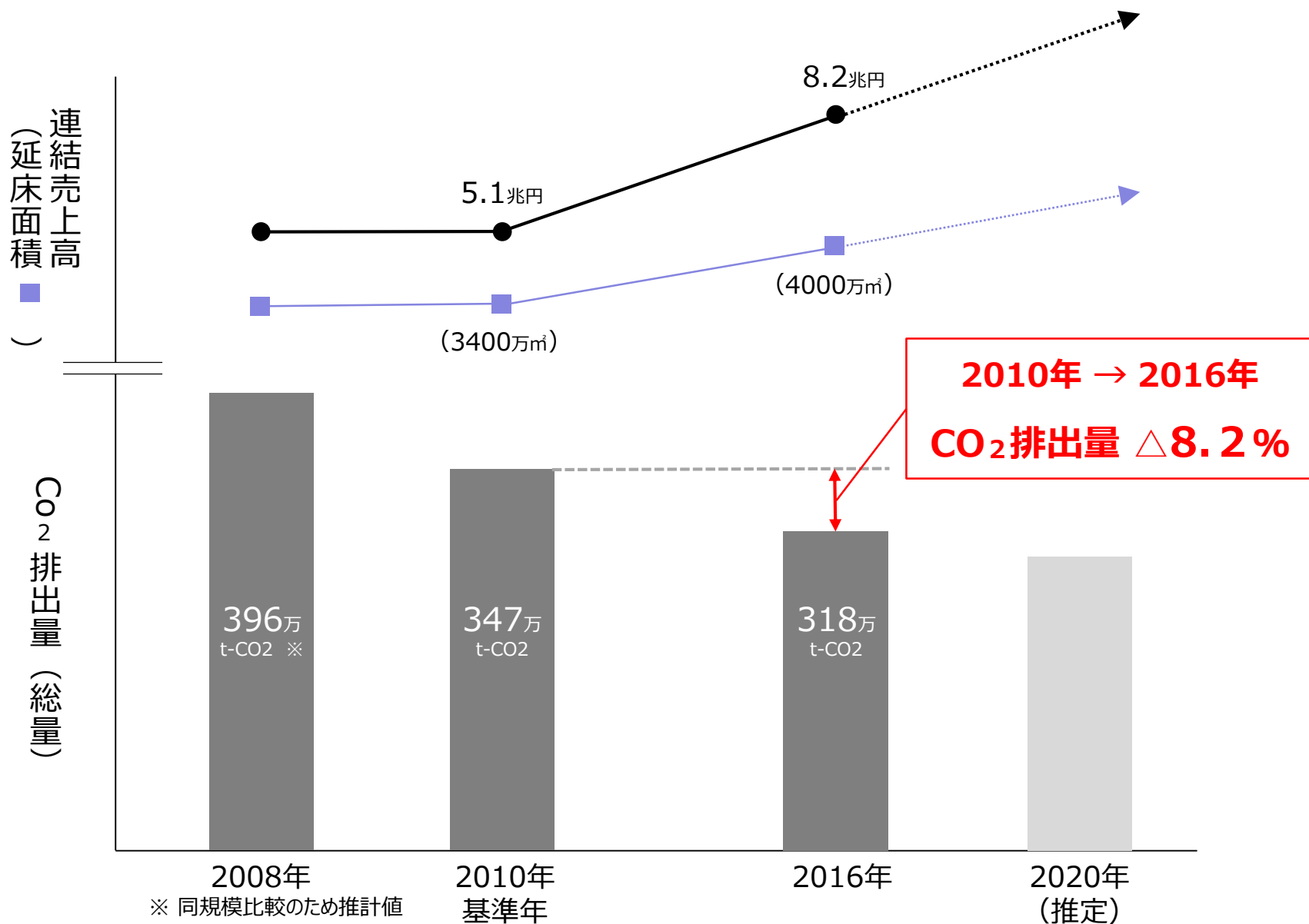
商品・物流

事業の過程で発生するCO₂等をゼロにする努力を続けます。

お客さまと
ともに

すべてのお客さまとともに、脱炭素社会の実現に努めます。

イオンの事業成長とCO₂排出量の推移

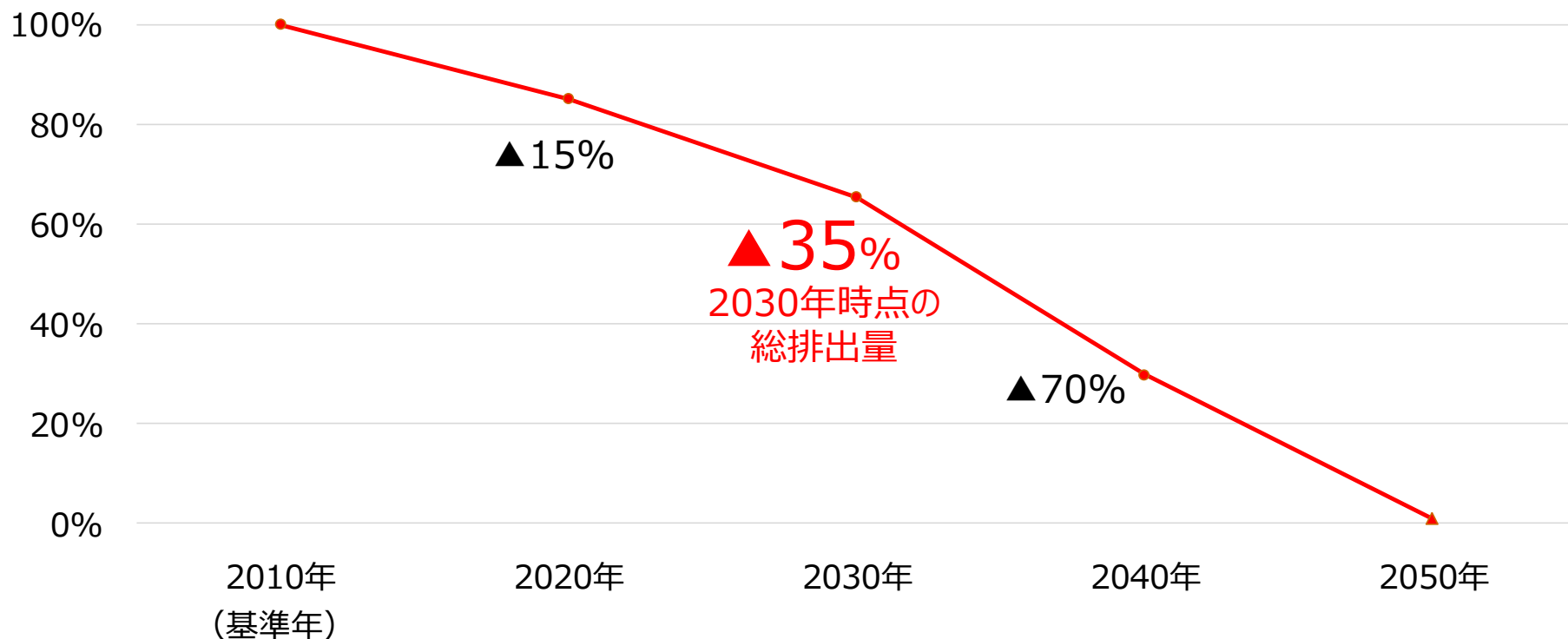


中間目標（2030年CO₂等排出量）



2050年排出ゼロからバックキャストして2030年目標を設定

2050年までのCO₂等排出削減経路（スコープ1 & 2）



※ SBT に整合する目標として、認定に向けて申請中

2030年までにCO₂排出量**35%**削減 (2010年比)

《達成手段の考え方》

イオンのCO₂排出量の約9割が電力由来

店舗使用電力の削減と再エネ転換

省エネ

再エネ

2030年目標達成に向けた手段

省エネ 推進	● 省エネ設備の導入、 IoTによる運用改善等 (照明・空調・冷ケース等)	年1%以上 の削減	14.8億kWh (削減分)
再エネ 転換	● 再エネの自社調達 太陽光発電設備の導入	大型店 + 小型店導入	4億kWh (自家発電)
	● 再エネ電力の契約	2018年度～	13.6億kWh (調達分)
	● 再エネ電力証書の活用	—	

- 次世代スマートイオンの開発
- イオンディライト(株)による電力事業の展開

自社における 具体的な取り組み

2030年目標の達成に向けて、CO₂排出量50%削減を目指す次世代スマートイオンの開発に着手



※標準店舗と比較（2010年比）

- 環境に配慮した「店舗」・「商品・サービス」の提供
- 「お客さま」とともに進める環境活動

- 持続可能な「まちづくり、コミュニティづくり」へ貢献

< 5つの基準 >

スマートエネルギー、防災・地域インフラ、生物多様性・景観、WAONとの融合、交通環境

- 脱炭素社会の実現に貢献

省エネ、再エネの様々な手法を組み合わせ

- 次世代スマート技術の導入
- AI・ビッグデータの活用
- エネルギーの遠隔一括管理
- 地域再エネ電力の活用等

次世代スマートイオンの開発

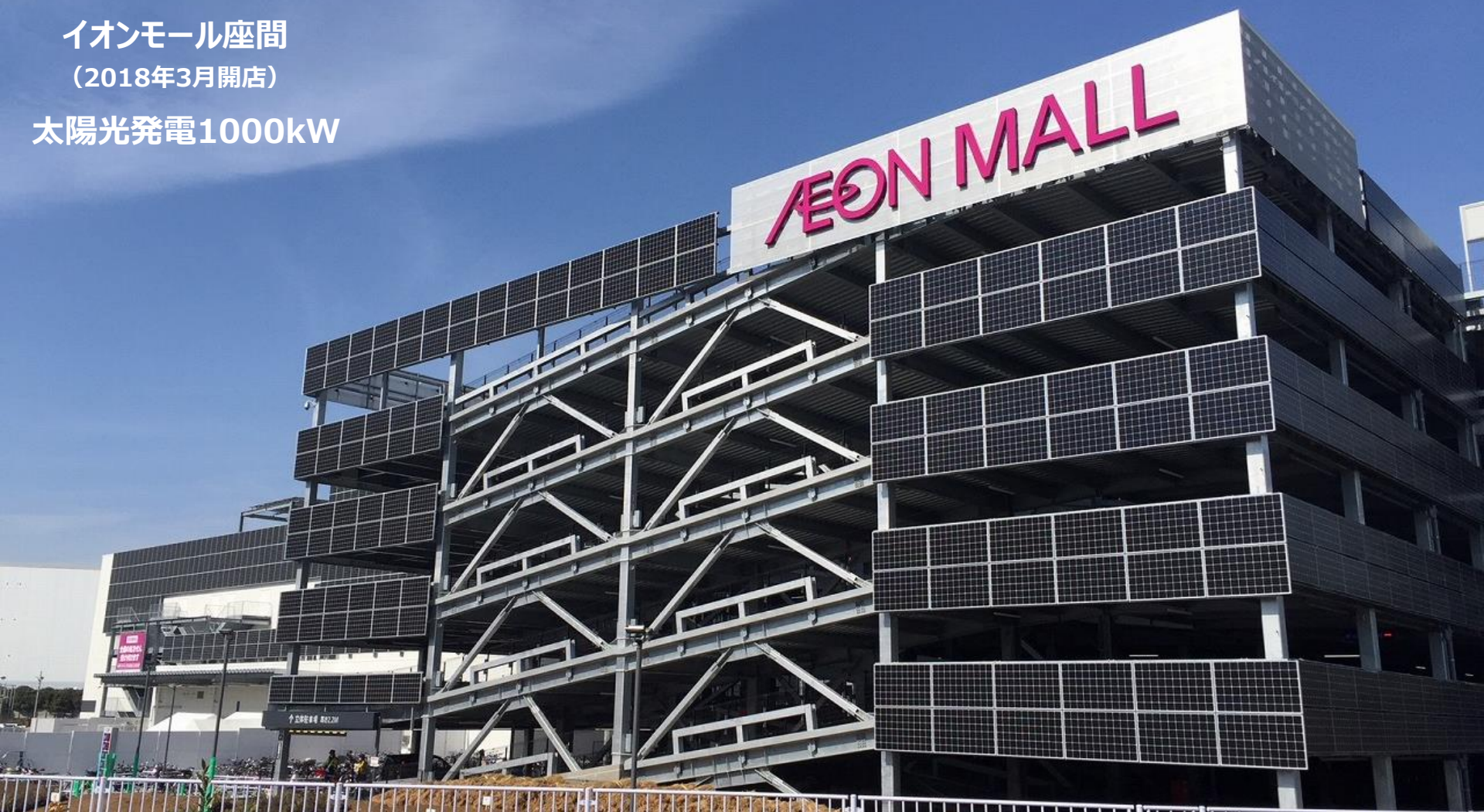


■ グループ店舗へ太陽光発電設備の積極的な導入

イオンモール座間

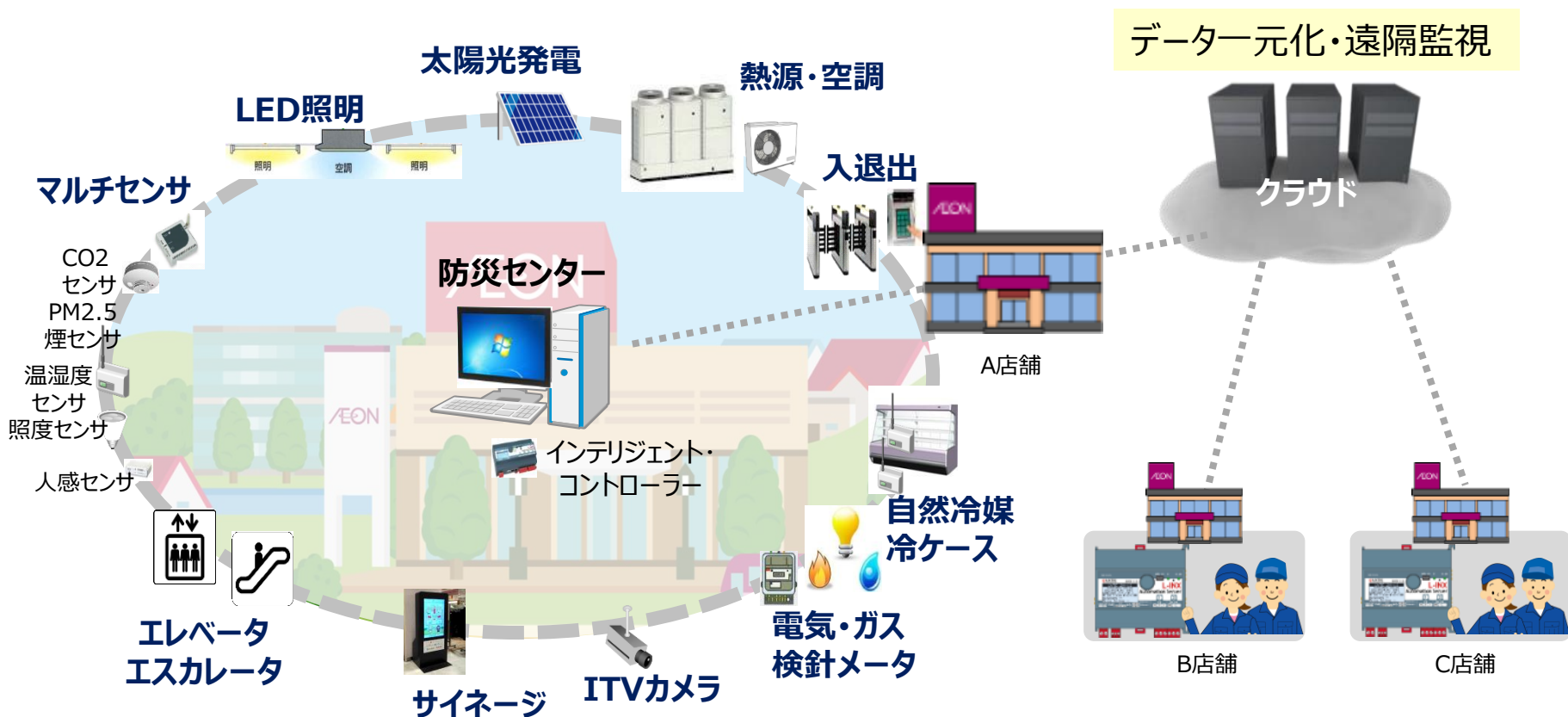
(2018年3月開店)

太陽光発電1000kW



■ IoTを活用して、グループ店舗のエネルギー融通を遠隔一括管理。エネルギーの部分最適から全体最適化へ

【エネルギー遠隔一括管理のイメージ】



イオンディライト(株)の電力事業 (展開イメージ)

■ イオンディライト(株)が新技術を活用し、地域の再生可能エネルギーの管理・小売を2019年度より事業化

再生エネルギー
発電会社



近隣需要家
(オフィスビル・病院・工場)



一般家庭



イオングループ店舗



RE 100

イオンは、2050年までに事業運営に必要な電力の100%を再生可能エネルギーに切り替えます

Sam Kimmins (Head of RE100, The Climate Group) 氏からのメッセージ

“Congratulations to AEON on this bold commitment. As a large international retailer, AEON has a substantial electricity demand, and going 100% renewable will send an important signal to the market in Japan and beyond that business wants to power itself using renewable energy.”

“AEON is demonstrating that businesses can lead on the decarbonization of energy systems whilst also reaping the business benefits of the emerging clean energy transition.”

EV 100

2017年11月、イオンモール(株)加盟
EV充電器を国内全モールに設置完了

【再エネ転換】再エネ電力の契約

2018年3月より、本社（イオンタワー・イオンタワーAnnex、千葉市）における使用電力を再エネ100%化



東京電力による再エネ「アクアプレミアム」を利用。CO₂を排出しない水力発電由来の電力

イオングループ店舗で再エネ100%店舗にチャレンジ。エネルギーの地産地消で地域活性化にも貢献



地域の再エネ電力の購入。
自治体等との連携を視野に、
多種多様な地域の再エネを活用

バリューチェーン全体での 取り組み

パートナーやお客さまへCO₂削減の協力を働きかけるなど、サプライチェーン全体で脱炭素社会の実現を目指す

■ 委託先様との取り組み

- PB商品の製造委託先企業へCO₂削減目標の設定を要請
- CO₂削減貢献商品の開発等



トップバリュ機能性インナー「ピースフィット」

■ モーダルシフトの推進

- メーカー7社と共同で専用列車を運行、運行数の拡大等
- 内航船の活用等



モーダルシフト研究会 専用列車

パートナーやお客さまへCO₂削減の協力を働きかけるなど、バリューチェーン全体で脱炭素社会の実現を目指す

■ イオンCOOL CHOICE宣言

- イベントや商品を通じて、お客さまへ家庭での省エネや3R行動を促進



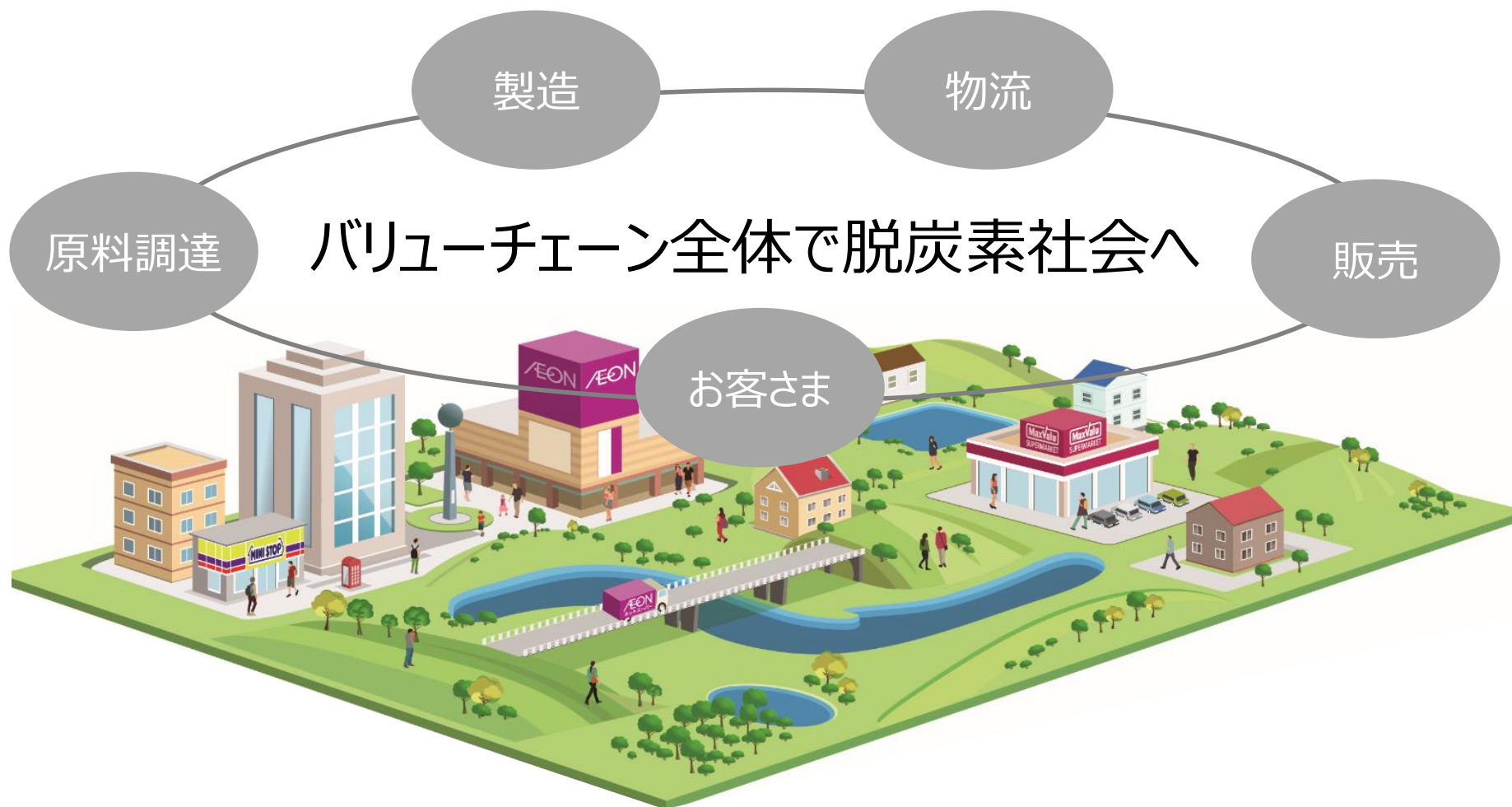
2017年7月11日イオンレイクタウンにて

■ 買物袋持参運動

■ イオンチアーズクラブ環境教育

- 2018年度テーマ「エネルギー」





AEON



木を植えています

私たちはイオンです